

# 神のおとずれ

日本聖公会 神戸教区報



2026年  
2月号

発行所

神戸教区事務所

TEL 078(351)5469

FAX 078(382)1095

<https://www.nskk-kobe.org/>



発行責任者

司祭 上原 信幸

印刷所

文明堂印刷所

## 罪を悲しみ悪しきを捨つる 心をたまえ

司祭 パウロ 瀬山 公一

### ノーベル賞

2025年お二人の日本人がノーベル賞を受賞されました。いつも簡単に新発見や発明ができるわけではなく、数えきれない失敗の末に生まれるのです。失敗するのは当たり前のことで、それは間違いを一つ消すことになり、マイナスではなく、成功に近づく過程にすぎないのです。しかし、そこには、時間も、苦勞も、費用もかかります。そんな研究は何の役に立つのか、とか不可能だとか言われても、そういう声には鈍感になり、研究に集中して続けた結果、誰にでも多少はあるもの

### ご褒美とお仕置き

人の目を気にして、自分を認めてもらいたいという感情は、誰にでも多少はあるもの



です。

「見てもらおうとして、人の前で善行をしないように注意しなさい。」(マタイによる福音書6章1節)

良いことをするとほめてもらえ、悪いことをすると叱られると考えるならば、逆に叱られないとか、見つからなかったら、何をやっても良いということになりかねません。掟や法だけの力では、十

### 罪を悲しむ

大斎始日の特権に「罪を悲しみ、その災いを悟り」とある

分ではないのです。まず何をもちて良いと言うのが重要なのです。おそらく自分たちにとって都合の良いことを正義としがちです。そして多くの場合、他者や神によって創造された世界のことを、自分たちに含まないのです。

ります。罪を犯すことによって、その結果、何が起るのか、その災いを想像することができれば、罪の意味が解るのではないのでしょうか。しかしそれでも罪を犯す人は、災いを想像できないか、それを自分にとっての災いだと思わないのではないのでしょうか。そんなことを考えても、何の得にもならないし、無意味だし、無理だと思ふのかもしれない。それでも、今は気付いていないだけで、大きな意味のある大発見に繋がるかもしれないですが、正解など無いのかもしれない。ただどんな時でも、神に従う者として、ひたすら祈り、答えを求め続けることが必要なのです。「栄誉を受けるときも、侮辱を受けるときも、不評を買ったときも、好評を博するときも、そうしているのです。」(コリントの信徒への手紙二6章8節)

(徳山聖マリア教会牧師・

下関聖フランシス・ザビエル  
教会管理牧師)

## 神戸教区婦人会大会のご案内と 教区婦人会の現状

神戸教区婦人会では、婦人会会員の研修、親睦、を目的とした婦人会大会を、三年に一度開催しています。

2017年神戸で開催されて以降、2020年広島大会の中止、2023年岡山での親睦会を経て、来年度は約10年ぶりの婦人会大会開催となります。

昨年に入ってから、大会担当教会である米子聖ニコラス教会を中心に山陰伝道区の皆さまによって、講師の選定や会場確保など着々と準備を進めてくださいました。

ここ数年一つ二つと婦人会が減り、教区内婦人会がある教会は半分ほど、今年度婦人会会員は百名を切る予想です。ですが今大会開催に向けて準備を行っているのも、教区内教会とそこで婦人会を支

えてくださっていた多くの女性方の働きがあったからこそ。

婦人会の有無、婦人会経験に関わらず多くの方に参加していただきたく案内いたしました。参加要項など詳細については、去る11月24日教区会にて各教会司祭さまにお渡ししております。是非検討くださり、交わりのひとときを共に過ごしたいと思います。

明石聖マリア・マグダレン教会が教区婦人会事務局を担当して2年が経ちました。担当前にコロナ禍があり、世の中は様変わりをしました。教区婦人会は今後の大会の在り方などを話し合う時期に来ていると強く感じ、各教会婦人会に神戸教区の今後についてアンケートもとりました。しかし事務局役員の半数が

婦人会経験の浅いため、アンケートだけではなく各教会の様子を知る機会が必要だとの声が役員内から上がり、有志がいくつかの教会に足を運びました。礼拝をご一緒し交わりのひと時を持つことで、事務局の考えを直接伝え、各教会婦人会からは貴重な意見を頂戴することができました。教会婦人会の無い教会にもお邪魔し直接会ってお話しさせていただくことで、婦人会の皆さまだけではなく、女性の方々が各々の教会でどのような働きをされているか、教えられることが多かったです。

いまだき『婦人会』という働きそのものに疑問を持たれる方が多いのは承知しております。難しく考えず、思いをともにできる方を大切に、交わりや繋がる機会を提供できる教区婦人会でありたいです。

（神戸教区婦人会代表

エリサベツ満川いずみ）

## 第53回日本聖公会神戸教区婦人会大会 in 米子

日時：2026年5月27日（水）～5月28日（木）

### 開催場所

#### 《一日目》

14：00 受付 皆生温泉「皆生つるや」 食事・宿泊

米子市観光センター 代表者会・講演会（つるやの向かい側）

テーマ：『魅力的な教会とは何か ―その実現に向けて―』

講師：日本聖公会 北海道教区主教 笹森 田鶴 師

#### 《二日目》

米子聖ニコラス教会 聖餐式・分かち合い

《大会についての問い合わせ先》

米子聖ニコラス教会・明石聖マリア・マグダレン教会

## 「宣教150年記念事業委員会」⑤

委員長 司祭 バルナバ 瀬山 会治

## 「特祷と委員会紹介」

神戸教区は教区宣教150周年の記念すべき年を迎え、これから活動を展開していきたいと思っていますが、私たちの働きは常に神さまへの祈りをもって始められ、祈りによって支えられるものでなければなりません。

この記念すべき時に、八代智主教さまに「教区宣教150周年」の特祷を作成していただきました。神戸教区がこの節目に感謝を捧げ、私たちが一つになれるよう、またこれからの教会の歩みに神さまの祝福があるよう、各教会においてこの祈りを用いてくださいますようお願い申し上げます。

本委員会は以下の4つのグループに分かれ、記念事業、

特に9月23日の「記念感謝礼拝」の実施に向けて準備を進めています。

1、礼拝グループは9月23日の記念礼拝の企画・実施をします。2、イベントグループは、礼拝後の記念行事を担当します。3、記念誌グループは、各教会からいただいた文章を基に、150周年記念誌の編纂を行います。4、庶務グループは、全体がスムーズに動けるように事務全般・運営サポートを行います。

なお、現在制作を始めた記念誌チームは、10年前に発行された「140年史」とは趣向を変え、この10年間における教区内各教会の活動の実りを重点的に掲載する予定です。年内の発行を目指しており、今後皆さまへ原稿の執筆依頼をさせていただく際に

は、ぜひご協力をお願いいたします。

私たちが祝う宣教150周年は、神さまと信仰の先達に感謝を捧げ、未来の教会像を指し示すための大切な教会の働きです。委員会では、ふさわしい記念事業が実現できるよう協議・検討を重ねておりますが、皆さまにおかれましても、ぜひ祈りをもってこの活動を支えていただけますよう、心よりお願い申し上げます。

## 「私を遣わしてください」

ください

ポーラ・グッダー 著

中原 康貴 訳



レント（大齋節）とは、元来、その年の復活日に洗礼を受け

る志願者の準備期間として設けられました。しかしそれは、次第に、洗礼をすでに受けた信徒も洗礼の約束を思い返し、新たにされる期間となっていきました。今年2026年は、2月18日（水）からです。

「齋」とは、節制・自粛・断食などによって、神様と周りの人のために自らを献げることで、それらを通じて、主イエスの荒れ野での誘惑、十字架の御苦しみ、そして自らの弱さ、脆さを見つめて、主なる神様を向き直す悔い改めの日々を過ごすことが求められています。

そのような大齋節の前に、「荒れ野での誘惑」と「弟子の召命」という二つのテーマを通して、レントの心を伝えていく本を紹介いたします。

私たちは、自分にとっての「荒れ野」に対して背を向けてしまうことがあります。しかし著者のポーラ・グッダーは、荒れ野は危険と救いをもたらす場所であり、そこに背

を向けてしまう弱さにも勇気をもって向き合うことを奨励しています。そしてそのような荒れ野において、まさにイエスの弟子たちがイエスに従いながら学んでいったように、イエスと共に過ごしながら、自分がどのような人間か、そして神様は私たちにどのような人間になるように求めているかを学ぶことが必要だと続けています。学ぶということは、私たちが変化して、変化して、変化すること、そのようにして主イエスと共に過ごすことを楽しむ共同体を目指すことです。そうする中で、きっと「私を遣わしてください」との思いと言葉と行いが私たちの背中を押してくれることでしょう。

中原司祭が大変わかりやすく翻訳しておられます。是非、今年の大齋節はこの本を一緒に読んでいただき、有意義な大齋節を過ごす糧としてはいかがでしょうか。

(司祭) ヨシユア長田吉史



鳩だより  
《敬称略》

祝 洗 礼

11月28日（金）

ダビデ 遠部 卓

福山諸聖徒教会

12月21日（日）

ベタニアのマリア

田原 智美

神戸昇天教会

12月25日（木）

パウリナ

小松 準子

高知聖パウロ教会

12月25日（木）

ジュリア

和田 早苗

マグダラのマリア森岡香梅

神戸聖ミカエル教会

12月25日（木）

ヨハネ

森野 正治

徳島インマヌエル教会

1月2日（金）

ヨセフ

松木 秀昭

高知聖パウロ教会

教 籍 移 動

12月10日（水）

サムエル 芳我 顕司

神戸聖ミカエル教会から

徳島インマヌエル教会へ

12月21日（日）

オーガスチン

立川 亮

広島復活教会から

京都復活教会へ

ご 逝 去

9月20日（土）

マルタ山形 銀子

神戸聖ミカエル教会

12月20日（土）

セシリヤ 橋口 靖子

広島復活教会

12月29日（月）

ステパノ 井上 英士

神戸昇天教会

11月26日（水）

ヤコブ

速水 卓

広島復活教会

12月20日（土）

アンデレ 丸山 健一

浜田基督教会

12月12日（金）

ローザ

酒谷 寛子

神戸昇天教会

12月24日（水）

ルチア 浜田 直美

神戸聖ミカエル教会

1月8日（木）

ヨシユア

大橋 憲一

浜田基督教会

1月2日（金）

ヨセフ

松木 秀昭

高知聖パウロ教会

3月の教区関係教役者  
逝去記念聖餐式

日時 2026年3月5日（木）午前10：30

場所 神戸聖ミカエル大聖堂

司式 主教 八代 智

説教 司祭 芳我 秀一

どなたでもいらしてください

\* 3月の記念逝去教役者

3日	司 祭	フレッド	ケテルウェル
6日	宣教師	アリス	ロバート
6日	伝道師		松野 時枝
10日	司 祭		内田 茂二
11日	宣教師	アンジェラ	オグレスビー
12日	主 教	ヤコブ	八代 崇
13日	伝道師		明山 せつ
16日	宣教師	エリザベス	ナッシュン
17日	司 祭	エリック	アレクサン
17日	宣教師	フローレンス	ガーデナー
18日	主 教	クリストファー	木川田 一郎
21日	主 教	ヒュー	フオース
21日	司 祭		村田 俊雄
22日	司 祭	オリバー	ナイ ト
22日	伝道師	ナオミ	広瀬 なおみ
23日	伝道師	ハンナ	田中 ハナ子
25日	伝道師	エリザベツ	億川 三重
27日	伝道師		中尾 ミサヲ
27日	司 祭	ウォルター	ウェストン
29日	司 祭	ステパノ	袴田 観一
30日	司 祭	ヨハネ	粟飯原 亀一
31日	伝道師	マリヤ	阿部 浄
31日	司 祭		山田 勝敏